

2013年9月4日

《報道資料》

KDDI 株式会社  
株式会社 KDDI 研究所

## 総務省「スマートフォン プライバシー イニシアティブ」に準拠した アプリ向けプライバシーポリシー作成支援ツールを無償公開 ～安心・安全なスマートフォン向けアプリの普及・拡大に貢献～

KDDI および KDDI 研究所は、2013年9月5日より、スマートフォン向けアプリを安心・安全にご利用いただくため、簡便にアプリ向けプライバシーポリシー（以下アプリプラポリ）を作成可能なツールの提供を開始します。

本ツールは、同日より KDDI 研究所ホームページにおいて無償公開します。

スマートフォンの普及に伴い、利用者の承諾なく利用者情報を外部に送信するアプリの存在がプライバシー保護の観点から懸念されています。総務省は 2012 年に「スマートフォン プライバシー イニシアティブ」（以下 SPI）を公表し、アプリの開発者に対して、情報送信機能を備える場合の適切なアプリプラポリの開示および利用者の承諾を得ることを求めています。しかし、KDDI 研究所調べ（注）では、情報送信を伴うアプリのうち、アプリプラポリを開示しているアプリが 25%、送信情報が正しく説明されているアプリが 11%、さらには SPI 提唱項目を全て満たし、かつ送信情報を正しく説明しているアプリは 0%という状況にあります。

KDDI 研究所では、この問題を改善するため、アプリの解析に基づき、外部に送信される可能性のある情報を高精度に抽出し、SPI 提唱項目に準拠したアプリプラポリの作成を支援するツールを開発しました。本ツールの利用により、アプリ開発者は短時間かつ簡単に正確なアプリプラポリを作成することが可能となり、開発者と利用者の双方にとって安心・安全なアプリの利活用に繋がります。

KDDI および KDDI 研究所は、これまでアプリプラポリの作成や公開を積極的に推進しており、2012年10月より、「au スマートパス」等で配信するアプリにおいてアプリプラポリ概要版の開示を開始し、2013年7月からはアプリ開発者向けに本ツールの一部を先行公開してアプリプラポリの精度向上を図るなど、KDDI が配信するアプリの安心・安全を追求しています。

このたび、一般のアプリ開発者にも本ツールの活用を広く促進することで、アプリ市場全体の安心・安全の底上げに寄与するとともに、今後もスマートフォン利用におけるさまざまなプライバシー不安の解決に努めていきます。

（注）KDDI 研究所が 2013 年 2 月に実施した調査結果に基づいています。詳細は参考をご参照ください。

以上

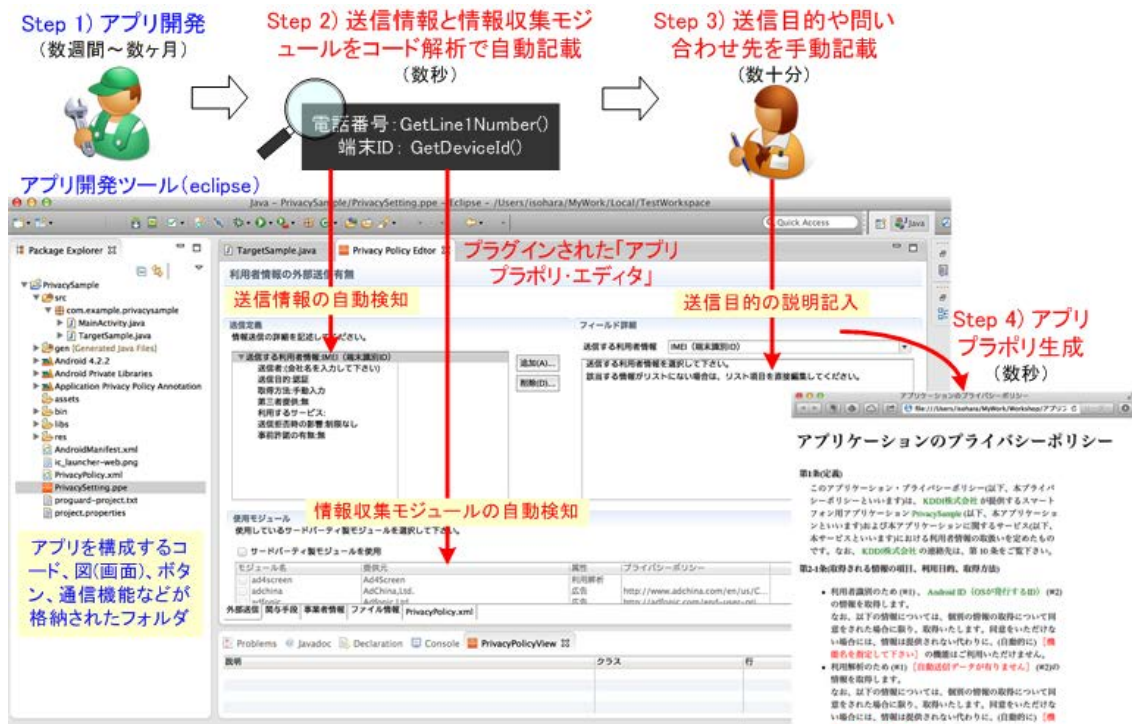
## 1. アプリプラポリ作成支援ツールの特長

- ・ アプリのソースコードから外部に送信される可能性のある利用者情報を簡単かつ高精度に抽出し、その他の項目は指定フォームに記入するだけで、利用者に分かりやすいアプリプラポリを作成できます。
- ・ 総務省 SPI 提唱の 8 項目に準拠した「詳細版」と総務省 SPI II (注)が提言する「概要版」の 2 種類のアプリプラポリを生成します。
- ・ WEB への掲載や Android™ OS 以外のアプリにも活用できるよう、HTML 形式で生成します。
- ・ Android™ OS 向けアプリ開発に広く利用される Eclipse のプラグインとして提供します。
- ・ 総務省 SPI II が提言する「アプリプラポリの第三者検証」にも対応できるよう、SPI 8 項目を機械解読できるようタグを付けて生成します。

(注)総務省 SPI II については、参考をご参照ください。

## 2. 本ツールの利用イメージ

- ① アプリを開発
- ② 送信情報をスキャンしてアプリプラポリの一部を自動作成
- ③ 必要箇所を補足、追記する。



### **3. 対応 OS**

Android™ OS

### **4. 提供サイト**

KDDI 研究所ホームページ

<http://www.kddilabs.jp/tech/public-tech/appgen.html>

### **5. 提供価格**

EPL ライセンスのもと、無償にて配布します。

### **6. 提供開始日**

2013 年 9 月 5 日 11 時

以 上

## 1. スマートフォン向けアプリプラポリに関する実態調査 (KDDI 研究所調べ)

調査期間	2011/8～2012/1	2012/4～5	2013/2～3
調査対象(人気上位の無料アプリ)	400 アプリ	100 アプリ	100 アプリ
情報送信を伴うアプリ	45.3%(181/400) (注 1)	81%(81/100)	63% (63/100)
何らかのプライバシーポリシー(注 2)を開示しているアプリ	13%(24/181)	19%(15/81)	57%(36/63)
アプリプラポリを開示しているアプリ	-	-	25%(16/63)
送信情報を正しく説明	9%(17/181)	3%(2/81)	11%(7/63)
送信情報を正しく説明かつ SPI 提唱の 8 項目に準拠	-	-	0%(0/63)

(注 1) SSL の暗号化通信路を通じた情報送信を検査の対象外

(注 2)アプリプラポリの他、事業者としてのプラポリを含む。

## 2. プライバシー保護に向けた各種取り組み

### (1) 総務省「スマートフォン プライバシー イニシアティブ」について

・「スマートフォン プライバシー イニシアティブ –利用者情報の適正な取扱いとリテラシー向上による新時代イノベーション–」の公表 (2012 年 8 月 7 日)

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01kiban08\\_02000087.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban08_02000087.html)

・「第 I 部 スマートフォンにおける利用者情報に関する課題への対応 スマートフォン プライバシー イニシアティブ II ～アプリケーションの第三者検証の在り方～」の公表 (2013 年 9 月 4 日)

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01kiban08\\_02000122.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban08_02000122.html)

### (2) 業界における取り組み

電気通信事業者協会(TCA)において、通信事業者自らが取り組むべき対策について自主ガイドラインを定め、当社を含む通信事業者全体が率先してスマートフォン向けアプリの透明性確保に向けて取り組んでいます。

・「スマートフォンアプリケーション提供サイト運営事業者向けガイドライン」の策定について (2013 年 3 月 29 日)

[http://www.tca.or.jp/topics/2013/0329\\_561.html](http://www.tca.or.jp/topics/2013/0329_561.html)